

平成 19 年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社 やすらぎ
代表者名 代表取締役社長 須田 忠雄
(コード番号 8919 名証セントレックス)
問合せ先 取締役経理部長 船田 啓
(TEL 0277-20-7400)
(URL <http://www.yasuragi-reform.com>)

平成 20 年 1 月期中間期・通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 2 月 16 日付の「平成 19 年 1 月期 決算短信 (連結)」および「平成 19 年 1 月期 個別財務諸表の概要」にて公表した平成 20 年 1 月期 (平成 19 年 1 月 21 日～平成 20 年 1 月 20 日) の中間期および通期業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 1 月期連結業績予想の修正

(1) 中間連結業績予想の修正 (平成 19 年 1 月 21 日～平成 19 年 7 月 20 日) (単位:百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	32,220	—	850	400
今 回 修 正 予 想 (B)	30,560	2,130	1,420	△1,440
増 減 額 (B-A)	△1,660	—	570	△1,840
増 減 率 (%)	△5.2	—	67.1	△460.0
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 7 月期)	36,033	3,437	2,791	1,482

(2) 通期連結業績予想の修正 (平成 19 年 1 月 21 日～平成 20 年 1 月 20 日) (単位:百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	71,000	—	3,400	1,800
今 回 修 正 予 想 (B)	59,900	3,750	2,400	△800
増 減 額 (B-A)	△11,100	—	△1,000	△2,600
増 減 率 (%)	△15.6	—	△29.4	△144.4
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 1 月期)	76,028	4,708	2,832	1,494

2. 平成20年1月期単独業績予想の修正

(1) 中間単独業績予想の修正(平成19年1月21日～平成19年7月20日) (単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	27,700	—	600	300
今回修正予想(B)	26,730	1,580	1,410	△1,390
増減額(B-A)	△970	—	810	△1,690
増減率(%)	△3.5	—	135.0	△563.3
(ご参考)前期実績 (平成18年7月期)	30,211	2,437	2,053	1,069

(2) 通期単独業績予想の修正(平成19年1月21日～平成20年1月20日) (単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	61,400	—	2,400	1,200
今回修正予想(B)	52,100	2,640	2,070	△940
増減額(B-A)	△9,300	—	△330	△2,140
増減率(%)	△15.1	—	△13.8	△178.3
(ご参考)前期実績 (平成19年1月期)	66,967	2,979	1,870	962

3. 【修正理由】

① (中間業績・連結決算および単独決算共通)

当社グループおよび当社は、当中間連結会計期間および当中間会計期間において、経常利益は前回発表した業績予想数値を上回る見込みであります。

しかし、新規事業の中古住宅賃貸事業(平成19年6月12日に公表した「新規事業の開始に関するお知らせ」参照)の開始に当たり、棚卸資産の一部を固定資産に移行する際に棚卸資産の評価を行った結果、約20億5千万円の資産評価損を特別損失として計上する予定であります。

また、品質低下や陳腐化等が生じていない棚卸資産のうち、販売期間が一定の回転期間を超えるものについては、今後の経営資源の効率化、最適在庫量の維持管理、財務の健全性や資産の圧縮・スリム化等を図る目的で、【企業会計基準第9号「棚卸資産の評価に関する会計基準」】を早期に適用することとし、約6億6千万円の資産評価損を特別損失として計上する予定であります。

この結果、中間(当期)純利益は、前回発表した業績予想数値を下回る見込みであります。

② (通期業績・連結決算および単独決算共通)

当社グループおよび当社は、上記に掲げる新規事業の中古住宅賃貸事業のため、棚卸資産の一部を固定資産に移行しました。これによって、下半期の売上高は、当初の見込みに比して減少する見込みであります。

この結果、経常利益および当期純利益は、前回発表した業績予想数値を下回る見込みであります。

※ 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上